

小西加保留教授略歴・主要業績



一 略 歴 一

学 歴

- 1972年3月 関西学院大学社会学部卒業（社会学士）
1972年4月 関西学院大学大学院社会学研究科修士課程社会福祉学専攻入学
1974年3月 関西学院大学大学院社会学研究科修士課程社会福祉学専攻修了（社会学修士）
2007年3月 博士（乙号）（社会福祉学）（関西学院大学）

職 歴

- 1974年4月 兵庫医科大学病院医療社会福祉部助手
1979年4月 主婦
1983年10月 兵庫医科大学病院医療社会福祉部研究生
1986年4月 兵庫医科大学病院医療社会福祉部助手
1991年9月 兵庫医科大学病院医療社会福祉部講師
1997年4月 桃山学院大学社会学部教授
1998年4月 桃山学院大学社会学部社会福祉学科教授
2004年4月 桃山学院大学社会学研究科博士前期課程応用社会学専攻社会福祉分野担当教員
2006年4月 関西学院大学社会学部社会福祉学科教授
2007年4月 関西学院大学社会学研究科博士後期課程社会福祉学専攻指導教員
2008年4月 関西学院大学人間福祉学部社会福祉学科教授

－学会及び社会における活動等－

学 会

1974年4月～	日本社会福祉学会会員
1984年5月～	日本ソーシャルワーカー協会会員
1985年6月～	日本医療社会事業協会会員（現日本医療社会福祉協会）
1987年11月～	日本地域福祉学会会員
1990年9月～	日本医療社会福祉学会会員
1994年6月～	日本社会福祉士会会員
1995年4月～1997年	兵庫社会福祉士会理事
1996年1月～	日本エイズ学会会員
1996年9月～2012年3月	関西 HIV 臨床カンファレンス理事
2004年4月～2005年3月	大阪社会福祉士会理事
2004年4月～	日本医療社会福祉学会理事（2013年より副会長）
2007年10月～2012年10月	日本社会福祉学会機関紙編集委員会委員
2009年4月～2010年3月	社団法人日本社会福祉教育学校連盟社会福祉専門教育委員
2014年4月～	日本ソーシャルワーク学会理事
2014年5月～2016年5月	日本社会福祉学会理事・学会誌副編集委員長
2014年12月～	第28回日本エイズ学会組織委員

社会活動

1998年8月～2000年3月	尼崎市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定委員会委員
1999年9月～2000年7月	尼崎市総合計画審議会委員
1999年10月～2001年3月	尼崎市介護保険認定審査会委員
1999年10月～2002年3月	兵庫医科大学治験審査委員会委員
2000年4月～2009年3月	尼崎市高齢者保健福祉推進協議会委員
2000年10月～2002年3月	尼崎市社会保障審議会委員（同副委員長～2015年3月）
2001年4月～2007年3月	大阪府介護保険審査会委員
2002年4月～2010年3月	尼崎市教育委員
2004年4月～2017年5月	NPO法人「愛逢」理事
2006年4月～2012年3月	尼崎市地域包括支援センター運営協議会及び地域密着型サービス運営委員
2009年4月～2015年3月	尼崎市社会保障審議会地域福祉専門分科会委員
2009年4月～2012年3月	尼崎市社会保障審議会高齢者保健福祉専門分科会委員
2009年4月～2011年3月	大学基準協会大学評価委員会委員
2010年4月～	社会福祉法人尼崎市社会福祉事業団理事
2011年4月～2013年3月	社会福祉士試験委員

－主要業績－

著 書

1. 『心理. 社会的問題をもつ患者への援助』（共著）医学書院、1977. 4
2. 『医療ソーシャルワーカーの臨床と教育』（共著）誠信書房、1985. 4
3. 『ソーシャルワークハンドブック』（共著）中央法規出版、1988. 3

4. 『保健医療ソーシャルワークハンドブック（理論編）』（共著）中央法規出版、1990. 11
5. 『保健医療の専門ソーシャルワーク』（共著）中央法規出版、1991. 12
6. 『エイズとソーシャルワーク』（編著）中央法規出版、1997. 8
7. 『在宅介護支援専門員実践テキストブック』（共著）中央法規出版、1999. 2
8. 『ケアマネジメント概論』（共著）中央法規出版、2000. 9
9. 『改訂在宅介護支援専門員実践テキストブック』（共著）中央法規出版、2000. 12
10. 『医療におけるソーシャルワークの展開』（共著）相川書房、2001. 5
11. 『ソーシャルワーク実践の基礎理論』（共著）有斐閣、2002. 2
12. 『ソーシャルワーク演習（上）』（共著）有斐閣、2002. 6
13. 『保健医療ソーシャルワーク実践Ⅰ』（編著）中央法規出版、2004. 1
14. 『保健医療ソーシャルワーク実践Ⅱ』（編著）中央法規出版、2004. 3
15. 『保健医療ソーシャルワーク実践Ⅲ』（編著）中央法規出版、2004. 5
16. 『ソーシャルワークの可能性』（共著）相川書房、2005. 10
17. 『ソーシャルワークにおけるアドボカシーについて－HIV/AIDS 患者支援と環境アセスメントの視点から－』（単著）ミネルヴァ書房、2007. 10
18. 『よくわかる医療福祉』（編著）ミネルヴァ書房、2010. 5
19. 『医療福祉学の道標』（共著）金芳堂、2011. 1
20. 『対論社会福祉学5 ソーシャルワークの理論』（共著）中央法規出版、2012. 11
21. 『保健医療ソーシャルワーク実践：アドバンスト実践のために』（編著）中央法規出版、2017. 6
22. 『救急患者支援－地域につなぐソーシャルワーク－救急認定ソーシャルワーカー標準テキスト』（共著）へるす出版、2017. 9
23. 『HIV/AIDS ソーシャルワーク－実践と理論への展望－』（編著）中央法規出版、2017. 11

論文

1. 「大学病院における医療社会福祉部の設置」（共著）『兵庫医科大学誌』 vol.2 No.1 pp.68-74, 1973. 9
2. 「予後不良の長期療養患者へソーシャルワーク－筋萎縮性側索硬化症患者の事例－」（単著）『兵庫医科大学誌』 Vol.4 No.1 pp.59-63, 1976. 3
3. 「患者の心理社会的ニーズに関する調査」（共著）『兵庫医科大学誌』 Vol.12 2. No.1 pp.52-56, 1983. 9
4. 「医科大学病院におけるソーシャルワーク部門についての調査報告」（共著）『社会福祉研究』 34号 pp.68-73, 1984. 4
5. 「大学病院における医療社会福祉部の設置への指針」（共著）『兵庫医科大学誌』 Vol.13 No.2 pp.48-56, 1985. 4
6. 「職場と HIV 感染者－社会福祉士の立場から－」（単著）関西産業健康管理研究協議会誌『銀杏』 4 pp.13-26, 1995. 7
7. 特集 AIDS 診療マニュアル「カウンセリングの実際－ソーシャルワークの視点から－」（単著）『総合臨床』 Vol.46 No.3 pp.531-535, 1997. 3
8. 「HIV 感染者のソーシャルワーク」（共著）『医療と福祉』 Vol.32 No.1 pp.3-10, 1998.
9. 「医療機関における人権」（共著）『公衆衛生』 Vol.62 No.6 pp.418-421, 1998. 6
10. 「HIV 感染者の身体障害者認定の経緯と ICIDH-2 への期待」（共著）『リハビリテーション研究』 No.96 pp.15-19, 1998. 10
11. 特集：21 世紀 HIV 感染症対策ストラテジー「ソーシャルワークの役割と課題」（単著）『総合臨床』 Vol.50 No.10 p.2776-2780, 2001. 10
12. 「サポートグループのあり方を考える」（共著）『日本エイズ学会誌』 Vol.6 No.2 pp.67-72, 2004.

13. 「保健医療領域における対人援助技術-「面接技法」と「アセスメント」を中心に-」
(単著)『桃山学院大学総合研究所紀要』Vol.30 No.2 pp.31-44, 2004. 12
14. 「対人援助職に求められる面接の技術-面接技術の意味とまとめ-」(単著)『介護支援専門員』Vol.7 No.1 pp.56-59, 2005. 1
15. 「HIV 感染者の社会福祉施設受け入れに影響するサービス提供者側の要因について」(単著)『厚生
の指標』Vol.51 No.9 pp.8-14, 2005. 8
16. 「社会資源の活用方法と留意点」(共著)『治療』第88巻 pp.2995-2999, 2006. 12
17. 「HIV 感染症による長期療養者とその受け入れに関する研究」(共著)『日本エイズ学会誌』Vol.9
No.2 pp.167-172, 2007. 5
18. 「寝たきりエイズ患者」に対する地域生活支援-固有の脆弱性とソーシャルワーカーの役割-(共著)
ソーシャルワーク研究 Vol.34 No.2 pp.56-65, 2008. 7
19. 「HIV 陽性者の就労に関わる実態と課題」(単著)電機連合 NAVI 21 号 pp.2-9, 2008. 9
20. 「介護を要する感染者を地域で支える-医療・保健・福祉をつなぐ視点と“ツボ”をさぐる-」(共
著)日本エイズ学会誌 Vol.11 No.2 pp.126-130, 2009. 5
21. 「ケアマネジメント業務自己評価尺度の開発-介護支援専門員が業務遂行のために必要とする技能修
得度の測定-」(共著)『厚生
の指標』Vol.58 No.6 pp.8-132, 2011. 6
22. 「要介護状態にある HIV 陽性者を支える地域の社会資源・制度の課題-エイズ拠点病院ソーシャルワ
ーカーへの実態調査から-(共著)『医療社会福祉研究』No.220 pp.77-87, 2012. 6
23. 「当事者と向き合う専門性とは何か-社会正義に向かうソーシャルワークの専門性への考察」(単著)
『社会福祉学』Vol.54-3 pp.83-87, 2013. 11
24. 「市民主体の地域啓発活動の検証」(共著)『日本エイズ学会誌』Vol.17-3 pp.159-166, 2015. 8
25. 「2014 年度学界回顧と展望 保健医療部門」(単著)『社会福祉学』Vol.56-3 pp.216-226, 2015. 11
26. 「社会福祉と保健医療の関係性の変遷と展望」(単著)『社会福祉研究』125 pp.44-52, 2016. 4
27. 「2015 年度学界回顧と展望 保健医療部門」(単著)『社会福祉学』Vol.57-3 pp.216-226, 2016. 11